

大学病院での医科・歯科双方の視点から

知っておきたい 歯科における 医療安全対策



A4判・242頁・オールカラー
本体9,000円+税

監修 前田嘉信(岡山大学病院長/血液内科)
塚原宏一(岡山大学副院長/小児科)
窪木拓男(岡山大学副院長/歯科口腔インプラント科部門)

編集委員 白井肇(岡山大学病院歯科総合歯科部門医療安全管理部、感染制御部)
飯田征二(岡山大学病院 口腔外科 顎口腔再建外科部門)

針刺し、誤飲・誤嚥、アナフィラキシーetc. 歯科医療安全対策の決定版をお手元に！

超高齢社会の昨今、患者の全身状態等を正確に把握し、安全に歯科医療を提供することはすべての歯科医院で求められています。こうした取り組みを高い水準で実践されてきた岡山大学病院の先生方が、医科・歯科双方の視点から「歯科医療安全」のベーシックオブベーシックを詳細に解説する書籍が完成しました。各インシデントへの対応から救急処置、感染管理に至るまで、多くの学びがぎゅっと詰まっています。

これまでにありそうであまりなかった、医科の視点を含めた実践的な本書を、ぜひ医院に1冊備えていただければ幸いです。

CONTENTS

Chapter1 総論

Chapter2 歯科医療における
頻度の高いインシデントと事故防止対策Chapter3 医科から見た
歯科治療でのインシデントへの対応

Chapter4 救急処置が必要となるインシデント

Chapter5 院内での医療安全啓発活動

Chapter6 維持管理が必要となる医療機器

Chapter7 歯科診療室における感染管理

Chapter8 その他

